

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H26.4.30現在)

	4月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	4件	4件	0人	2人
平成25年度(昨年度)	2件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

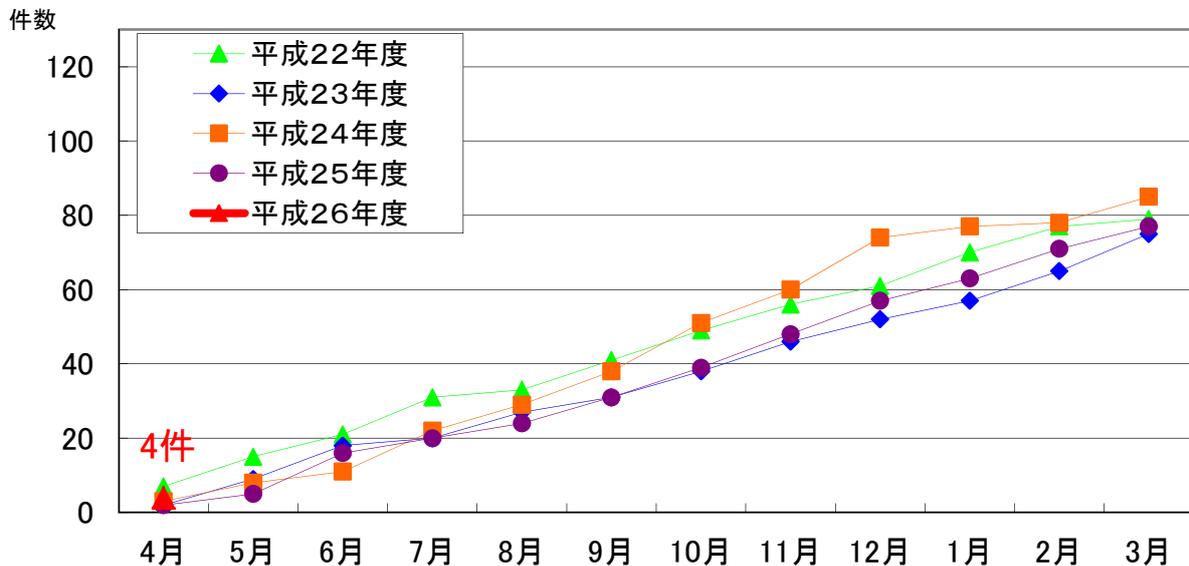
注2) 「4月発生件数」は、4/1～4/30の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

●工事事故件数

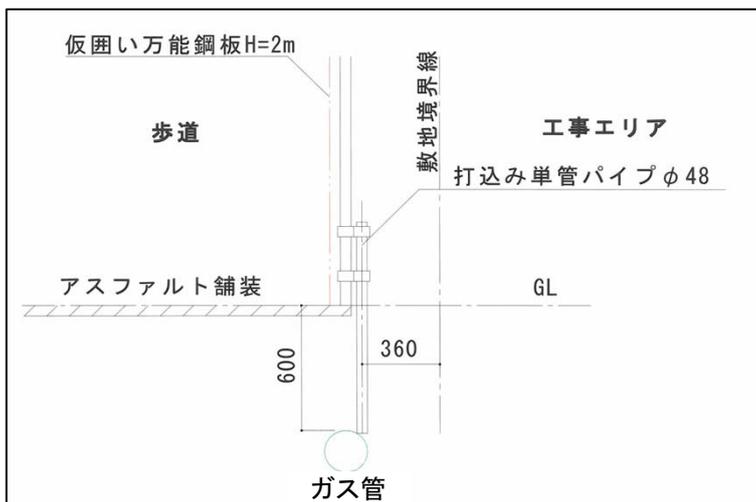


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	4件 (4件)											

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

発生日時	平成 26 年 4 月 9 日 (水) 16 時 55 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	埋設ガス管表面損傷	
事故概要	工事箇所では仮囲い用の単管パイプφ50mmを打ち込んだ際、埋設されていたガス管に単管パイプが接触し、管の表面が損傷したものの。 公衆損害—地下埋設物件損傷				

事故発生状況



・工事範囲内の仮囲い用の単管パイプを打ち込んだ際に、埋設されていたガス管にパイプが接触し、表面が損傷した。

・管理者と事前に協議した図面には、当該管は記載されていたが、工事範囲内には影響はなかったため、試掘等をする前に単管パイプを打ち込んでしまった。

・本工事着手前に管理者に立会をしてもらったところ、仮囲い直下にガス管が埋設されていることが発覚した。

・ガス管は表面が傷ついただけで、ガス漏れは発生していない。



【事故発生原因】

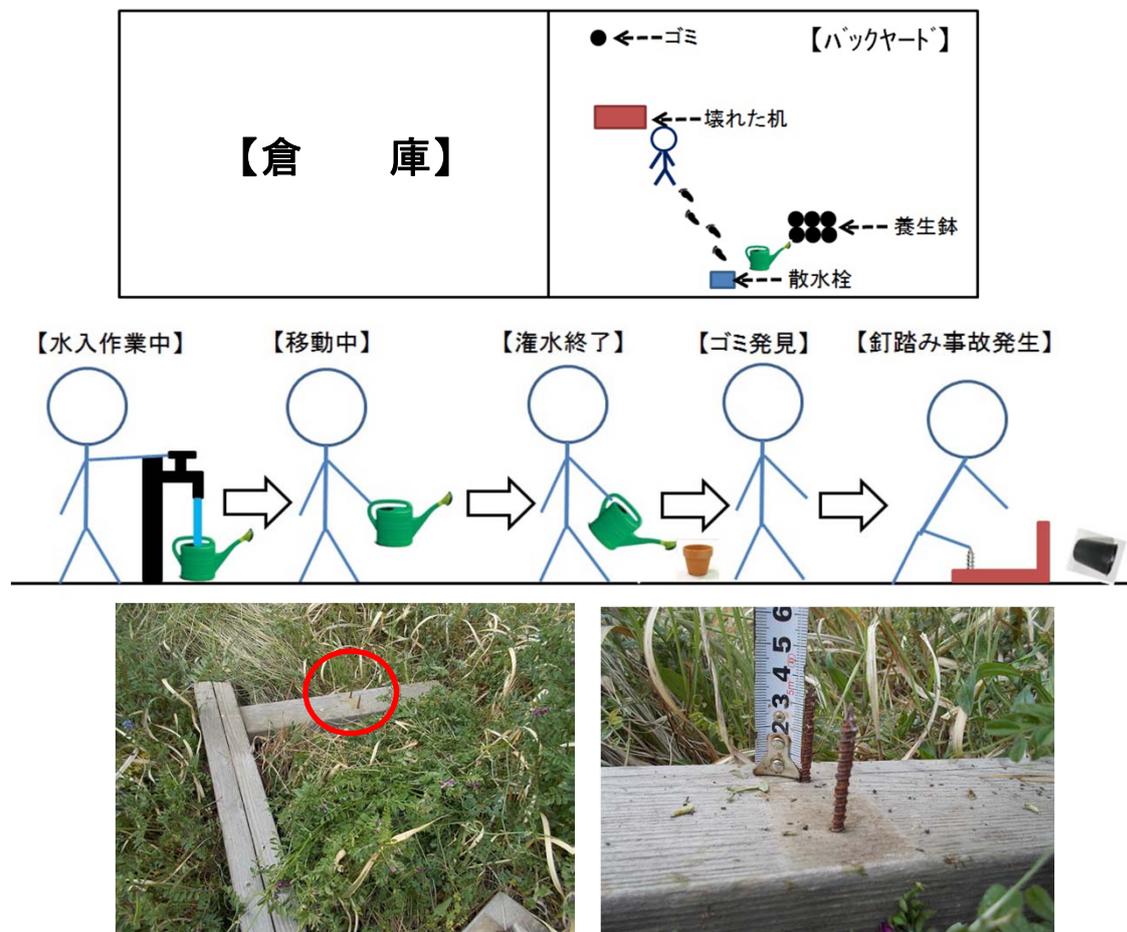
・事前の図面確認や試掘などの地下埋設物に対する安全管理が十分に実施されていない。
 など

【事故防止のポイント】

・作業前に図面の確認や試掘、管理者の立会などの地下埋設物に対する安全管理を徹底する。
 など

発生日時	平成 26年 4月 16日 (水) 15時 0分				天候	晴
工事情報	公園系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	女性	28	スタッフ	左足裏負傷		
事故概要	資材倉庫を片付け中に、元請けの職員が屋外に置かれていた破損した木製テーブルの露出釘に気づかず、釘を踏み、左足裏に釘が刺さり負傷したもの。					
	労働災害—その他労働災害					

事故発生状況



・被災者が花苗の水やりをしている時に、周辺にあるゴミを発見し、拾おうと資材仮置き場に立ち入り、釘が露出した木製テーブルの廃材を踏み、左足を負傷した。

・事故現場はバックヤードとして花苗等資材の保管場所である一方、木製テーブル等の修理や廃棄等の措置前の仮置き場として使用していたが廃材等の仮置き場への立入禁止等区分けがされていなかった。また、目視点検のうえ作業を実施していたが、廃材が草に埋もれていたため、発見、除去ができなかった。

【事故発生原因】

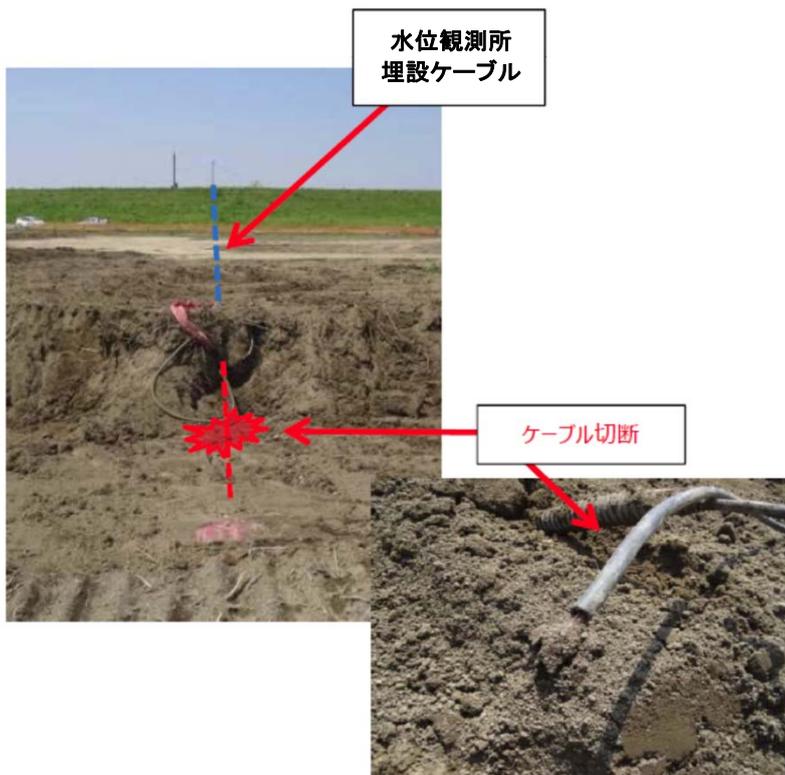
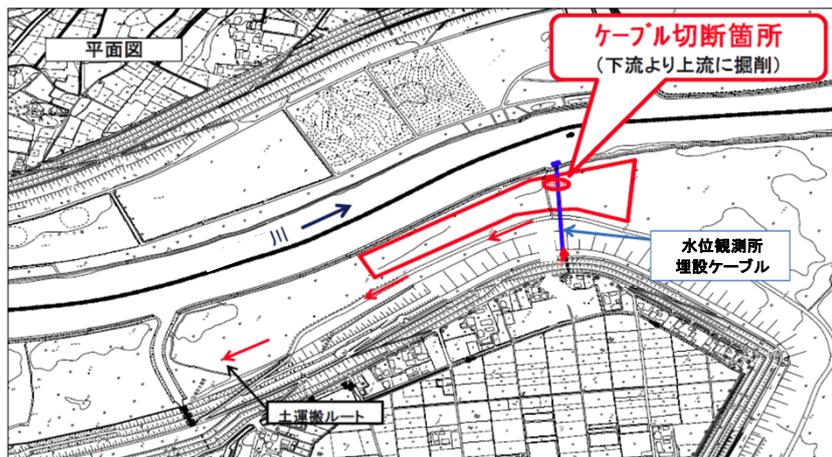
・危険物の排除がされていなかった。
など

【事故防止のポイント】

・作業前に現場を確認し、危険物の排除・立入禁止措置などを実施する。
など

発生日時	平成 26 年 4 月 23 日 (水) 10 時 12 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	—	—	—	水位観測所用埋設ケーブル切断	
事故概要	土砂の掘削積み込み作業をバックホウで実施中、埋設されていた自記水位観測所の埋設ケーブルをバックホウのバケットでひっかけ、切断したものの。				
公衆損害—地下埋設物件損傷					

事故発生状況



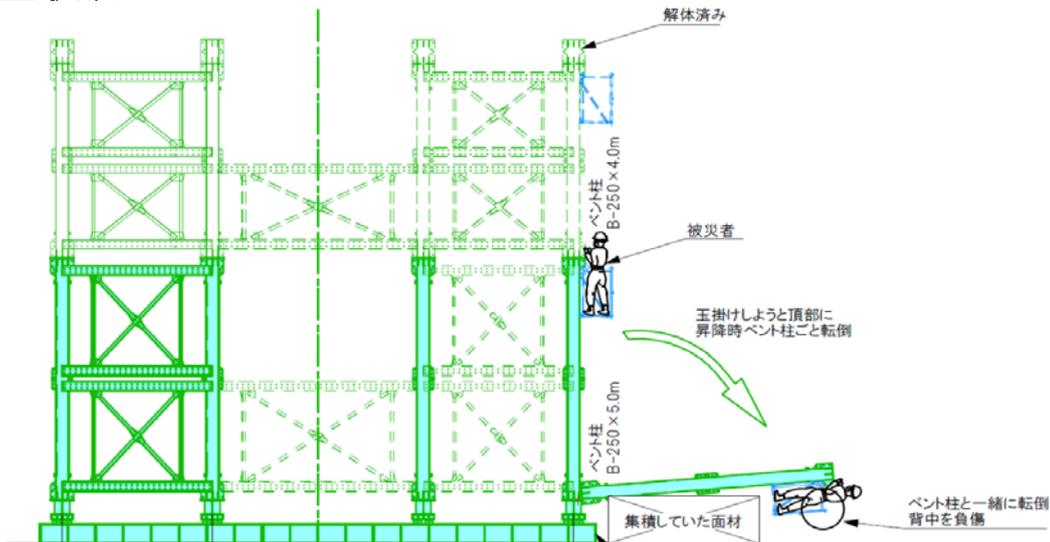
- ・工場の土取り場において、土砂の掘削積み込み作業をバックホウにて実施中、埋設されていた自記水位観測所の埋設ケーブルをバックホウのバケットでひっかけ、切断した。
- ・過去に別途工事において掘削している箇所を引き続き上流側に延伸している箇所であったこともあり、埋設物に係わる調査・試掘、対策は実施していなかった。
- ・現地調査や図面でも水位観測所は確認できるため、埋設物の存在は予測できたものと考えられる。

【事故発生原因】
 ・事前の図面確認や試掘などの地下埋設物に対する安全管理が十分に実施されていない。
 など

【事故防止のポイント】
 ・作業前に図面の確認や試掘、管理者の立会などの地下埋設物に対する安全管理を徹底する。
 など

発生日時	平成 26 年 4 月 28 日 (月) 16 時 18 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	24	鳶工	肋骨1本骨折、肺部打撲	
事故概要	<p>ベント解体中に、ベント柱天端に玉掛けしようとした際、ベント基礎部のボルトが破断し、ベント柱とともに高さ5m程度の位置から倒れ、作業員が背中を地面に打ち付け負傷したもの。</p> <p style="text-align: center;">労働災害—その他労働災害</p>				

事故発生状況



・橋梁架設用のベントの解体を実施していた。

・ベント柱の天端に玉掛けを行うため、作業員が天端の足場にのったところ、ベント基礎部と柱を固定していたボルトが破断し、柱とともに高さ5m程度の位置から倒れ、作業員が背中を地面に打ち付け、負傷した。

・ベント基礎部と柱は、ボルト8本で固定されていたが、事故当時は、先に8本中6本のボルトをはずしてしまっていた。

【事故発生原因】

・柱天端に玉掛けする前にボルトを外してしまっていた。
など

【事故防止のポイント】

・解体の手順を明確にした作業手順書を作成し、周知徹底する。
など